

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育	主要施策	豊かな心と健やかな体の育成	評価 部局	教育委員会 学校教育部	関連 部局
施策コード	2222	施策名	子どもの問題行動への対応					

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	学校、家庭、地域、関係機関が連携し、専門性を有する人員などを活用し、いじめや暴力行為・不登校など生徒指導上のあらゆる問題に対して未然防止に努めるとともに、一貫性のある取り組みを推進し、早期発見・早期解決を図る。	施策の方向性	成果指標								
				指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
目的	平成28年度 目指すべき姿	スクールソーシャルワーカー等の専門性を有する人員の効果的な活用を通して、学校、家庭、地域、関係機関の連携した取組を進め、いじめを含む問題行動の防止や不登校児童生徒数の減少を図る。	重点化	① 小学生不登校児童出現率 (%)	↓	在籍児童数に対する不登校児童の割合(不登校児童数/在籍児童数)	目標	0.32	0.3	0.28	0.26	0.24
							実績	0.33				
				② 中学生不登校生徒出現率 (%)	↓	在籍生徒数に対する不登校生徒の割合(不登校生徒数/在籍生徒数)	目標	2.7	2.63	2.56	2.49	2.42
				③								

手 段	事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規		
						項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27		H28	
	222201	スクールサポート事業	<ul style="list-style-type: none"> 問題行動や不登校等の背景にある環境を改善する。 児童生徒に対して生活面での支援を行うことによる問題行動の減少を図る。 児童虐待の未然防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 不登校や問題行動等の課題を抱える児童生徒や虐待に関する関係機関等からの情報収集や生活面での支援についてのアセスメントを行う。 ② 不登校や問題行動、虐待等の課題を抱える児童生徒・保護者・教員に対するケースマネジメントを行う。 ③ 学校・保護者・関係機関との円滑な連携のための調整・連絡を行う。 ④ 業務実施のために必要な調整及び報告のための打ち合わせ等を行う。 ⑤ 各学校における研修会等への指導助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士または、精神保健福祉士の資格を持つスクールソーシャルワーカー(SSW)を学校に派遣。 ケース会議、家庭訪問の実施。 学校における研修会への支援。 関係機関との調整。 	10	6,105	7,098	スクールソーシャルワーカーの学校・家庭・関係機関等への訪問回数(回)		意味・算式等	計画	420	480	重点

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規		
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等		H27		H28	
手段	222202	伊丹市いじめ・不登校総合対策推進事業<222205を統合、名称変更前:「学校問題解決支援事業」>	・学校・家庭・地域の連携により、いじめ防止等の取組を充実する。 ・様々な機関の連携による社会総がかりのいじめ防止推進体制を構築する。 ・不登校や、いじめを含む問題行動等に迅速に対応して、未然防止や早期の解決を目指す。	伊丹市いじめ防止等対策審議会により企画等を行い、既存のこどものいじめ問題対策推進事業、学校問題解決支援事業等の活用の充実を図る。不登校などの生徒指導上の課題に対して、学校問題解決支援チームによる迅速な対応を図る。	・伊丹市ネットいじめ対応マニュアル等の配布(児童・保護者)。 ・いじめ防止等対策リーフレットの作成・配布(小1、小4、中1・関係機関等)。 ・いじめ防止等のための基本的な方針に基づく対応。 ・いじめ防止等対策審議会の開催(4回)。 ・学校問題解決支援チーム会議の開催(年3回)。 ・学校問題解決支援チームの学校派遣(適宜)。 ・生徒指導ふれあい相談員の学校派遣。	10	15,760	15,630	学校問題解決支援チーム会議の開催回数(回)	=	学校問題解決支援チーム会議の開催回数(数)	計画	3	3	計注
	222203	スクールカウンセラー活用事業	臨床心理士等による専門的なカウンセリングを通して、いじめ、問題行動、不登校等の減少を図る。	・全小中高等学校への配置 ・スクールカウンセラーと教員の連絡会の開催(月1回) ・スクールカウンセラー研修会の開催(年1回) ・校内カウンセリングマインド研修の開催(年2回以上)	臨床心理士等による専門的なカウンセリングを通して、児童・生徒の心に寄り添い、早期解決を図るなど、学校における教育相談体制を充実させる。	10	13,353	13,354	スクールカウンセラーの延べ配置日数(日)	=	市費によるスクールカウンセラーの配置日数合計	計画	455	455	
	222204	生徒指導委託事業	・家庭や地域、関係機関と連携し、「伊丹市少年非行防止対策プロジェクトチーム」による検証を活かした取組を進める。 ・問題行動の未然防止、児童生徒の安全確保を図るとともに、自己の行動に対する責任感を醸成する。	学校が、家庭、地域並びに関係機関と緊密な連携のもと問題行動等の早期発見、早期対応に努めるとともに未然防止の方策等を研究し、教員の指導力の向上、教育相談体制の整備を進める。	・生徒指導担当者の実施。 ・関係機関との連携。 ・定期的な校区内パトロール。	10	970	970	夜間等のパトロールを実施している小中学校数(校)	=	夜間等のパトロールを実施している小中学校数(数)	計画	25	25	
	222206	ピアサポートプログラム(冒険教育)推進事業	・子どもの「自尊感情」「課題解決力」「コミュニケーション力」等を育む。 ・互いに信頼し合える良好な人間関係を築く。	・冒険教育施設の充実と活用 ・指導者養成研修会の実施(年3回) ・室内型冒険教育プログラム研修会の実施	・総合教育センター主催の実技研修等を実施し、指導者を養成する。 ・講習会を実施し、冒険教育施設や室内型プログラムの活用を促進する。	10	1,034	1,041	冒険教育施設使用者の人数(人)	=	冒険教育施設を使用した人数	計画	13,500	14,000	計注
	222207	不登校児童生徒の学校復帰支援事業	適応教室やメンタルフレンドの派遣等により、不登校児童生徒の学校復帰を図る。	・各学校と適応教室との連絡会の充実(月1回) ・不登校問題に関する研修会の開催(年1回) ・「不登校を考える親のつどい」の開催(年2回) ・メンタルフレンドによる家庭訪問(週1回)	・適応教室「やまびこ館」及び第2適応教室「学習支援室」において、不登校児童生徒の学校復帰支援を行う。 ・メンタルフレンドによる家庭訪問を実施し、ひきこもり傾向の児童生徒の学校復帰支援を行う。	10	9,886	9,645	学校復帰率(%)	=	部分復帰を含む学校復帰ができた人数/通館生人数×100 (仮入館生を含む)	計画	-	61	計注

手 段	事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規		
						項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	計画		H27	H28
	222208	教育相談事業	各種相談事業を実施し、悩みのある幼児児童生徒及び保護者の心の安定を図り、生活面での支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 相談員による「継続相談(こころ)」(随時) 相談員による「特別支援教育相談(発達)」(随時) 精神科医による「医療相談」(年10回) 発達を専門とする小児科医による「医療発達相談」(年10回)等 	子どもや保護者、教職員の様々な悩みに対して面接相談や電話相談を実施し、適切な支援を行う。	10	16,782	16,623	相談実施回数(回)	評価対象外	面接相談を実施した回数(本人、保護者への支援として相談を実施した回数が指標として適切である。)	計画	2,200	2,200	
						01									

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	63,890	64,361